

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	40	—	事業名	障がい者総合支援通所施設事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	----	---	-----	----------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	4	障がい者が暮らしやすいまちをつくる			
		施策の進め方	—				
	まちづくり行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 福祉の家内にある障がい者通所施設の指定管理業務運営状況について適宜確認を行い、適正な運営を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者通所施設の利用者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域社会でより自立した豊かな生活を営むことができるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 障がい者総合支援通所施設事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							25
人件費(B)	千円	決算					763
総コスト(A)+(B)	千円	決算					788

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 事業評価	評価	目標	—	—	A	A	
			実績	—	—	B	A	
	B			目標				
				実績				
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 指定管理事業が適正に行われていたかは、年度ごとの評価で判断できるため。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町でも指定管理で運営を行っている施設はいくつもある。 なお、障がい福祉サービスを利用する人は年々増加傾向にある。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は達成しており、また、年度を重ねるごとに改善が見られる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 法律に基づくサービスであり、ある程度の制限がかかってしまう。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成28年度末までは現在の事業者が指定管理者として実施し、その後は再度の公募を行う。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	障がい者総合支援通所施設事業									
-----	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

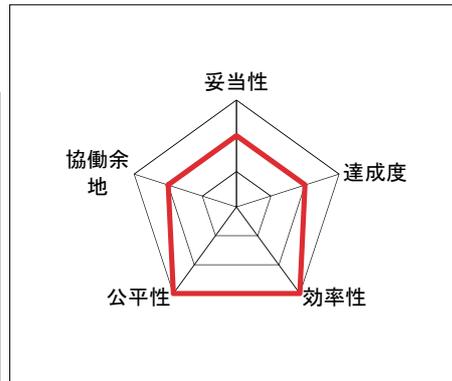
番号	①	事務事業名	障がい者総合支援通所施設事業									
----	---	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	福祉の家内の障がい者福祉施設を指定管理業務で運営し、そこへ通所する利用者に、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを提供している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地域社会でより自立した豊かな生活を営むことができるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				25

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業評価	評価	目標	—	—	A	A	
		実績	—	—	B	A	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成28年度末までは現在の事業者が指定管理者として実施し、その後は再度の公募を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)